

情報連絡員報告総括表(令和7年3月期)  
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食 料 品	醤油・味噌製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	・原材料価格の値上がりが続いているため、価格転嫁のタイミングに苦慮している。 ・物価高により、消費者は買い控えをしている。
	処理牛乳・乳飲料製造業	→	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
織 維 工 業	ニット製造業	↘	→	→	→	↘	→	→	→	↘	・受注量は減少傾向で、景況感も悪い。 ・受注減と経費増により、収益悪化傾向にある。 ・退職者が出た後の雇用確保が出来ていない。 ・トランプ関税による景況悪化が懸念される。
	絹人織織物業	↘	→	↗	→	↘	↘	→	→	↘	・生活必需品が値上がりしているため、それ以外の商品である織物の需要は減退している。 ・商品の値上げによって売上数量は減少し、売上金額も減少している。 ・今後、人件費や諸経費の上昇も予想され、収益は厳しい状況である。 ・これ以上の商品の値上げは益々の需要の減退を招き、売上の増加に繋がらないため、売上の維持に苦慮している。
	綿・スフ織物業	→	→	→	→	↘	→	↘	→	↘	・売上が伸びず諸経費が上昇しているため、大幅な加工賃アップが望まれる。
木 材 ・ 木 製 品	一般製材業	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	・県内の新設住宅着工戸数は、前年同月比で54.3%の大幅増と6ヵ月連続の増加になっている。前年同月は能登半島地震で落ち込みが大きかったことと、地震に伴う再建住宅需要に取り組んでいることなどが要因として考えられる。 ・新設住宅着工数については持ち直しているが、トランプ関税により米材を中心に産地価格や製品価格が不安定になっていることは、木材関連事業者にとって大変気掛かりなことである。 ・売上額についても前年同月比で増加しているものの、ロシア材価格の上昇、需要の停滞、従業員の確保などの課題があり、引き続き厳しい経営環境にある。 ・ロシア材取扱事業者については、産地事情が厳しいことによる低水準の荷動きや円安に伴う仕入れ価格の上昇などに苦慮している。 ・令和7年4月から施工の建築基準法とクリーンウッド法について、中小零細事業者までしっかり対応し順守されるのか見通せない状況にある。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。

印刷業	印刷業	↓	→	↗	→	→	→	→	→	↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用状況について、年々新卒の採用はもとより中途採用も人が集まらず、厳しい状況が続いている。</li> <li>・県内企業一丸となつての印刷業のPRが必要である。</li> <li>・組合事業の中に、新たに採用支援について企画していかなければならない。</li> </ul>
化学・ゴム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部、原料価格が落ち着いたものもあるが、状況は変わらない。</li> </ul>
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比約115%となり、前年実績を上回っている。</li> <li>・昨年4月からの累積出荷量については、県全体で前年比約97%となっている。</li> </ul>
	コンクリート製品製造業	↓	→	↗	→	↓	→	↓	↓	↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	骨材・石工品等製造業	→	→	↗	→	↓	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生コン、コンクリート二次製品、アスコン等の各得意先との令和7年度骨材納入契約は、ほぼ完了している。組合としては契約書の内容について、県内各社統一をお願いしている。</li> <li>・骨材の需要は、堅調な状況で推移している。</li> </ul>

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・中国向けの受注量は減少したままである。 ・先行きの不透明感は強く、景況感も悪化している。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	↗	→	→	→	↗	→	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	↗	→	→	・組合員1社が新規に空調設備を設置するにあたって、共同受電の総電力抑制を図るために、太陽光パネル設置を検討している。
	めっき加工業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・取引先企業の生産量が年度末ということで多くなり、それに伴いめっきの需要が増えたため、売上が回復している。しかし、4月以降については未定である。
一般機器	金属工作機械製造業	↘	→	→	→	↗	→	→	↘	↗	・受注状況及び売上ともに、前年同月と比べて若干減少している。 ・下請け企業で倒産・廃業が発生しており、今後の部品供給(受注)に影響が出る恐れがある。
	金属加工機械製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	非金属用金型製造業	↘	→	↘	→	↘	→	↘	↘	↘	・中小零細では、それ相応の賃金の見直しの実施は難しい。 ・要因は不明だが、最近、中堅社員の離職が見受けられる。依然として新規雇用が期待出来ない中、人員減の影響が大きく、受注確保も重要だが、如何に業務をこなしていくかが事業運営の大きな課題として浮かび上がっている。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↗	↘	↗	↗	↗	→	→	↗	→	・新製品として近年量産を開始した車載製品の受注については、増加傾向にある。また、民生品は一部の分野で受注が増加している。しかし、全体的には回復に至っておらず、受注は低迷している。 ・新製品開発は少しずつ活発化している。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	・昨今に比べて費用の高騰が見られることから、運営状況にも厳しい影響が出ている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備 操業度	雇用 人員	業界の 景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季需要の減少や2月の寒波の影響で工事関連の立ち上がりが遅れていることで、袋セメント取扱数量は減少しているが、前年数量並みは確保している。</li> <li>・セメントメーカーより4月からの値上げ要請があり、私製袋との価格差が更に広がることによって、せつかくの増加基調に水を差すのではと危惧している。</li> <li>・建設関連事業は、資材価格や人件費、運搬費が高騰したことで着工数については横ばいか減少傾向となり伸びは見られないが、引き続き能登半島地震災害復興に伴うインフラ関連工事が旺盛となっているため、出荷増加に繋がっていると想定される。</li> <li>・対前年度比の取扱数量はアップしているが、震災関連需要の寄与度が高く、本業での需要増を模索していきたい。</li> </ul>
	非鉄金属製品卸売業	↘	↘	↗	↘	↘	↘		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存分の受注減少が激しく、新規受注はあるものの、なかなか安定しない状況が続いている。販売先や仕入先についても仕事が少ない状況である。</li> </ul>
小売業	鮮魚小売業	↘	→	↘	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。</li> </ul>
	食肉小売業	↘	→	↗	↘	↘	↘		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業店が新しく開店する度に売上が減少している。</li> <li>・光熱費等が値上がりし、収益を圧迫している。</li> </ul>
	野菜・果実小売業	→	→	↗	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月の富山卸売市場は、前年同月比で数量90%、単価115%、売上は103%となり、3月も単価高が続いている。</li> <li>・野菜の単価について、令和6年4月～令和7年3月までの累計でも前年比122%と高値となっている。</li> </ul>
	家庭用電気機器小売業	↘	↗	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界全体が低迷気味で活気のない状況である。</li> </ul>
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	ガソリンステーション	↘	→	↗	↘	↘	↘		↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、SSの経営環境は依然として厳しい。</li> <li>・物価高による利用者の節約志向が響き、ガソリン販売量の減少は続いている。</li> <li>・販売価格については、政府による燃料油価格激変緩和対策事業の補助額縮小に伴い、大幅に上昇している。</li> </ul>
	農機具小売業	↗	→	↗	↗	↗	→		↘	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年からの米価高騰を受け、主食用米回帰の風潮が高まり、飼料米の作付けが減となった影響で、農業機械の購買意欲が増している。</li> </ul>
	スポーツ用品小売業	↘	→	↗	↘	↘	↘		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の減少により、学納品の売上が減少している。今後、部活動入部希望者も減少する見込みで痛手である。</li> </ul>
	ショッピングセンター	↘	→	↗	↘	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は横ばい気味であるが、商品価格が値上げされていることから、実質は売上減少と思われる。</li> <li>・物価高と先行き不安から、消費者の節約志向が更に強まっている。</li> </ul>

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	・卒業・入学・就職等を迎える若者を中心に商店街への人出が多くなっている。 ・春のイベントを行っている百貨店からの人の流れもあり、買い回り品、特に洋服店が賑わっている。各洋服店では、昨今の気候変動によりすぐに夏の気候になるので、夏物の準備を急ぐ必要があるとしている。
	商店街	↘	↗	→	→	→	→		→	→	・物販の売上は減少したが、飲食は増加している。
サービス業	クリーニング業	↗		→	↗	→	→		→	↗	・特になし。
	飲食業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	・3月中旬頃から予約が増え、前年同月比で売上が10%増加している。
	建築設計業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	・3月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同月比で3ヵ月連続の前年越えとなっている。 ・2024年度新車販売台数は、3年連続で前年度実績を上回る結果となったものの、大台の500万台には5年連続で達していない。 ・2024年度は、自動車メーカーの認証試験不正が相次いで発覚し生産や出荷停止があったものの、半導体などの部品の供給不足の解消による新車供給の回復や、スケジュールが遅れていた新型車の発売などによって持ちこたえた感がある。今後については、生活インフラや商品価格の値上がり傾向がまだまだ続くことやトランプ関税の悪影響が市場に出始めていることから、新車販売市場は、予断を許さない状況が続くと予想される。 ・自動車整備事業者は、各種自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、自社の取扱い車種が加速度的に減少していく状況にある。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↘		↘	→	↘	↘		→	→	・大手鉄骨加工業者については、見積りが増えてきており、仕事量もそれなりにある。また、図面承認や建方の遅延などの影響で工場が空いたり、急な残業をしなければならないことが多々ある。 ・中小鉄骨加工業者については、多少仕事は出てきたもののまだまだ不十分であり、単価上昇までには至っていない。 ・国交省の統計では、鉄骨造の方が丸棒造より1㎡当たりの工事予定額が安いと公表されており、工期的にも有利な鉄骨造の採用を役所や設計事務所にアピールし、仕事量を増やす努力をしていかなければならない。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	・景況に変化はない。 ・新年度の公共工事における富山県の配管工労務単価は、1,400円アップの26,300円となっている。
	電気工事業	↗		↗	→	→	→		→	↗	・公共事業、民間工事ともに工事量は増加傾向にある。 ・昨年からの材料費高騰も落ち着き、工事費に反映されてきている。 ・業界全体に人員不足が常態化し、工事の受注制限が見られる一方で、人員確保の出来る大手では受注制限は見られない。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	↘	→		→	→	・軽油価格が前年同月比で+10円/ℓ前後と高騰しており、収益状況はかなり悪化している。
	道路貨物運送	→		→	→	↘	→		→	→	・燃料価格は、前年同月比+9.8円/ℓと収益への影響は大きい。 ・物量は、前年同月比102.0%と微増である。